

研修大会 分科会詳細

2月18日(日)

◆ 分科会 受付9:00 開始9:15~11:45

“住む”を支える事業 (第一分科会)		
コーディネーター	中野 敏子	明治学院大学名誉 教授
発題者	森本 千尋	社会福祉法人 朔風 常務理事
	菅野 道明	社会福祉法人 ふるさと福社会 幸房の家 施設長
	加藤 亮一	特定非営利活動法人 三鷹はなの会 事務局長
助言者	岡部 國男	全国事業所協議会運営委員会
内 容		
<p>国の入所施設を作らないという方向の中で、親亡き後の地域生活を支える事業の一つにグループホームがあります。地域の中でグループホーム事業を展開すると、利用者の高齢化や重度化への対応など様々な課題に直面しています。一方で、新たな事業として、国は自立生活援助も打ち出しており、利用者の地域生活を支えていく為には、事業所としてどの様に進むべきなのでしょうか。さらに、障害福祉サービスだけでは、“住む”を支える事業の“限界”にきていると感じるところもあります。“住む”を支える今後の新たな事業展開の可能性や方向性を探ります。</p>		

“働く”を支える事業 (第二分科会)		
コーディネーター	朝日 雅也	埼玉県立大学 教授
発題者	山内 民興	社会福祉法人 ぷろぼの 理事長
	田村 幸枝	社会福祉法人 れんこんの会 理事長
	木村 利信	特定非営利活動法人 自立支援センターむく 理事長
助言者	白杉 慈郎	全国事業所協議会運営委員会
内 容		
<p>障害者への就労支援は障害者自立支援法施行以降の10年で大きく変わりました。一般企業等への就労支援が進む一方で、就労支援事業所では利用者の高齢化・重度化が進んでおり、これ以上の工賃向上が難しくなっています。就労支援の事業はどこに向かうべきなのでしょうか。就労支援事業所でなんのために働くのか、これまでと違った働き方がないのか、働くことの意味が問われています。</p> <p>また企業における雇用の現状に対しても、就労支援事業所からの役割はないのか期待されています。</p> <p>この現状を踏まえつつ、東京で行われた9年前の事業所協議会大会での討議内容を振り返り、現在に至るまでの経過を検討しながら、今後の働くを支える事業の役割・方向性を探る分科会とします。</p>		

研修大会 分科会詳細

2月18日(日)

◆分科会 受付9:00 開始9:15~11:45

“ 老い ”を支える事業 (第三分科会)		
コーディネーター	大村 美保	筑波大学 助教
発題者	新井 晃紀	社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会 ひまわりハウス 統括施設長
	村上 恒夫	社会福祉法人 上田しいのみ会
	山崎 憲司	社会福祉法人 にりん草 はすね福祉作業所
助言者	三上 正浩	全国事業所協議会運営委員会
内 容		
<p>高齢になった知的障害者はどのように生活するのか？この問いに明確に答えられる人は稀でしょう。2000年の「知的障害者の高齢化対応検討会」報告書から17年経ちましたが、実践事例はまだ少なく、高齢知的障害者への支援はどここの事業所でも未だ手探りです。</p> <p>第三分科会では、①障害福祉サービス事業所は介護保険とどのように向き合うか？②住まいの場の変化と支援③家族の支援力が落ちたときに誰がどのように補うのか？の3つの切り口から、高齢となった知的障害者の“老い”を支える事業のあり方を検討します。</p> <p>具体的な支援に結び付く、より実践的な分科会とします。</p>		

“ 暮らし ”を支える事業 (第四分科会)		
コーディネーター	石渡 和実	東洋英和女学院大学大学院 教授
発題者	石川 明博	社会福祉法人手をつなぐ 手をつなぐ安心生活支援センター 所長
	明石 洋子	特定非営利活動法人かわさき障がい者権利擁護センター 理事長
	森山 瑞江	練馬区立大泉障害者地域生活支援センター さくら 相談支援専門員
助言者	田中 寛	全国事業所協議会運営委員会
内 容		
<p>障がいのある人たちの暮らしを支えていくには何が必要なのか。住む場所の確保、日中を過ごす場所の確保、生活費の確保、余暇の過ごし方、医療、相談etc…と、様々なことが必要です。いくつもの要素が重なり合って生活は成り立っています。第四分科会では我々が現在行っている福祉サービスや社会制度、地域の様々な社会資源を繋ぎ合わせることでより“暮らし”を支える事業またその仕組みをどのように作り上げるかを話し合います。発題者の実践を通じて見える現在の課題や取り組みからヒントを見つけ、地域みんなで丸ごと支えて行けるような連携、協力による明日から使えるネットワーク作りについて考えて行きます。</p>		

研修大会 詳細

2月18日(日)

閉会式 (12:00-12:30)

12:00	閉会挨拶 各分科会 報告 大会アピール 東京都知的障害者育成会 地域法人協議会 次期開催地区挨拶 沖縄県手をつなぐ育成会 大会閉会のことば
-------	---

参加費

5,000円

宿泊について（2月17日宿泊）

参加費・宿泊費につきましては、大会事務局の委託に基づき日通旅行株式会社が収受代行いたします。

お申し込み方法について

1. 別紙「参加申込書」へご記入の上、日通へメール、ファックス、郵送にてお申し込みください。
2. 申込期限 平成29年11月30日（木）必着

駐車場について（大会会場）

- ・大会会場の駐車料金は、会場ホテルにご宿泊される場合、普通車700円/日、日帰りのお客様は無料です。（会議・懇親会参加の方に限ります。）
- ・大型バス・マイクロバスをご利用の方は、2000円/日です。
尚、スペースに限りがありますので事前に大会事務局へお申し出ください。

お問い合わせ先

■大会事務局

東京都知的障害者育成会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-3-39 STSビル3F

TEL 03-5389-2600 FAX 03-5389-4090